

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	産業連携・交流推進事業	コード	11404
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 経済部	課等 工業振興課	作成者 真田 健
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	基幹産業の振興	施策	工業の振興
		予算科目	産業連携・交流推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市内企業が取り組む新規成長産業分野等の研究開発に対して、大学との連携を支援する。他地域との交流を行い、市内企業の受発注活動の支援を行う。	
目的	対象者	関係機関、大学等
	意図	交流の推進

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>■信州大学大学院修士課程・博士課程専門職コースの支援を行った。</p> <p>■岡谷市金属工業連合会、機械精密工業会、表面処理工業会、電気工業会、計量器工業会の事務局として工業会活動を支援した。タイへ進出している日系企業4社の企業視察を行った。</p> <p>■都市間交流の中、市内企業との情報交換会を実施した（須崎市）（東大阪市）産業情報交換会事業として、マルヤス長野（飯島町）へ企業PRを行ったほか、マルヤス工業（愛知県）の諏訪圏工業メッセ視察に同行した。</p>		
前年度の課題への対応	低迷する経済状況にあって、市内企業の受注確保を目的に大手企業や他地域との交流事業を中心に実施した。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）		
① 活動指標（指標名）	開催数				単位	回
	実績値	1	2	2		
	*指標の説明	講座等（ナノ加工研究会）の開催数、H22から交流会、情報交換会等の開催数				
② 成果指標（指標名）	参加者数				単位	人
	目標値	50	45	33	30	
	実績値	45	33	30		
	達成度	90.0%	73.3%	90.9%		
	*指標の説明	情報交換会等の参加者数				
*目標値の設定方法の説明	定員人数					

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	3,151,314	3,093,037	3,430,025	3,639,000
経常経費	3,151,314	3,093,037	2,920,245	3,325,140
臨時的経費	0	0	509,780	313,860
* 臨時的経費の説明	金属工業連合会海外海外視察旅費等			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
正規職員の人数(人)	0.45	0.45	0.45	0.45
③ 合計コスト(①+②)	6,751,314	6,693,037	7,030,025	7,239,000
前年度比		99.1%	105.0%	103.0%
財源内訳				
一般財源	6,751,314	6,693,037	7,030,025	7,239,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	6,751,314	3,346,519	3,260,123	
前年度比		49.6%	97.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
ジェットロ諏訪支所負担金	件数	1	1	1	1
	金額	719,000	719,000	694,000	694,000
産業のまちネットワーク協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
スマートネットワーク負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	10,000	10,000	10,000.00
諏訪東京理科大学地域ソリューション推進協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	81,020	81,000	80,820	808,660
諏訪圏ものづくり推進機構補助金	件数	1	1	1	1
	金額	2,150,440	2,107,610	2,106,142	2,263,875
アの①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,990,460	2,947,610	2,920,962	3,806,535
	割合	94.90%	95.30%	85.16%	104.60%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 90.9%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 90.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 市内企業の受注確保に向け、市内企業が取り組む新たな研究開発にどのように信州大学や山梨大学等との連携に結び付けていくかが課題。 また、市内企業が新たな受注確保を図るため、大学との共同研究や都市間交流による取り組みが必要である。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 市内企業の研究開発や受発注活動等の情報収集に努めるとともに、新たな都市間交流が可能で有効的な取り組みができる都市を選定する。
改善開始時期		平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---